

第25回ベストスイマー2024表彰式開催のご報告

～ 昨年に引き続き、5名が受賞されました ～



泳力認定委員会管轄の「第25回ベストスイマー表彰式2024」が、6月11日（火）、東京ドームホテルにて行われた定時総会後の懇親会内で開催されました。

受賞されたのはいずれも各支部から推薦のあった方で、菊田朋子さん(北海道・根室スイミングクラブ)、吉本明子さん(東北・花巻スイミングスクールサンフィッシュイーター)、金井真寿美さん(関東・NECグリーンスイミングクラブ玉川)、高松知代美さん(信越・アクシーかめだ)、宮垣明美さん(九州・わかあゆスイミングクラブ)の5名が受賞されました。

受賞者のご紹介

水泳を始めたきっかけは、お子さんが水泳を習い始めたことだった菊田さん。泳げるようになるにつれ楽しくなり、4泳法を習得。お子さんが水泳を辞めてからも週に2～3回の練習を続け、マスターズ大会に出場し平泳ぎで入賞するなど、40年以上に渡り水泳に親しんでいらっしやいます。現在の目標は所属クラブで導入された「命を守る30分完泳」への挑戦だそう!「今はタイム更新ではなく、長く続けて泳ぐことが目標です。」と水泳仲間と頑張っている。



菊田 朋子 (きくた・ともこ) さん



吉本 明子（よしもと・あきこ）さん※

3歳で水泳を始め、「5歳でバタフライ50Mを泳いだ」ということで、かなり有名だったという金井さん。インタビューで改めて聞いてみると、もちろん事実で、会場はどよめきと笑顔で湧きました。全国JOC400M自由形優勝など輝かしい経歴の持ち主ですが、最近では2020年東京五輪のお手伝いをされるなど、大会をサポートする側からも水泳に携わっていらっしやいます。所属クラブにとっても、創立50周年という節目の年に、クラブ会員番号1番の金井さんの受賞は喜ばしいものになったことでしょう！

クラブ開校当初に入会し、38年間クラブに通い続ける吉本さん。カナツチからのスタートでしたが、週3回のペースで練習を重ね、数々のマスターズ大会に出場されるまでになりました。華やかなフォームで泳ぐ姿は成人クラスの良きお手本となっているそうです。「プールに通うことが日常のルーティーンとなっており、自分の生きた証としていつまでも続けたい」と仰っておられたそうです。※当日は、所属クラブの田中 定吉様が代理で登壇されました。



金井 真寿美（かない・ますみ）さん



高松 知代美（たかまつ・ちよみ）さん※

宮垣さんもお子さんの影響で水泳を始め、カナツチ状態からスタートし、マスターズ大会に出場されるなど、35年間水泳を続けてこられました。ほかの受賞者が「上達していく喜び」を水泳継続の秘訣として語る中、「すぐに上手く泳げたら、辞めていたかも」とお茶目にお話されていたのが印象的でした。昨年の練習回数は238回との前情報がありましたが、インタビューでは「練習内容や担当コーチなど、必ず記録するようにしています」と、アスリート並みに熱心に取り組む宮垣さんの姿勢が伝わってきました！

50歳を過ぎてから水泳を始めた高松さん。毎日楽しくプールに通っていましたが、約1年前、パーキンソン病が襲います。医師から「身体を動かさないと将来動けなくなってしまう」と診断を受け、以前より積極的にプールに通うようになりました。幸い現在も、準備体操から水中練習まで90分のレッスンをこなされているそうです！プールでお友達とお話できるのも楽しみだそうで、プール通いを生き甲斐にされているそうです。※当日は、所属クラブの川瀬 哲也様が代理で登壇されました。



宮垣 明美（みやがき・あけみ）さん